

2020 年度 環境経営レポート

(対象期間 2020 年6月1日～ 2021 年5月31日)



有限会社 荒木電工

発行日： 2021年6月7日

| | |
|---|------|
| ＜ 目 次 ＞ | 1 |
| 1. 経営方針 | 2 |
| 2. 環境経営方針 | 3 |
| 3. 会社情報 | 4 |
| 4. 許可、届出関係 | 5 |
| 5. 事業内容の紹介 | 6 |
| 6. 組織図 | 7 |
| 7. 環境経営目標及びその実績 | 8 |
| 8. 太陽光発電の実績 | 9 |
| 9. 環境経営計画、取組結果とその評価 | 9～10 |
| 10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無 | 10 |
| 11. 代表者による全体の評価 | 10 |

- ◆ 有限会社 荒木電工は地域密着型の設備工事専門店として事業活動を行っております。

電気・空調・給湯器のレスキュー隊!

(有) 荒木電工

コンセント1個から修理の事まで

設備の【販売 / 施工 / 点検 / 修理】見積無料

0824 72-7800

営業時間 7:00 ~ 18:00 定休日: 日 / 祝 (土曜不定休)

〒727-0005 庄原市川手町 76-1



全メーカー
取扱 OK!

1. 経営方針

1-1. 社長あいさつ

有限会社荒木電工は、庄原市、三次市を中心とした地域密着型の工事専門店(電気・空調・給湯器・各種設備等)として1989年(平成元年)より事業を展開しております。

公共工事等で培った設計技術、施工管理、品質管理、維持管理に係る能力をベースに民間工事まで幅広く活用し、取り扱う設備機器を通じて地域貢献を目指しております。

また刻々と変化する時代に対して、お客様のニーズに応えられるように新商品の情報収集や専門技術の向上を行いながら、提案型の工事専門店として、日々努力して参ります。



代表取締役 荒木 和也

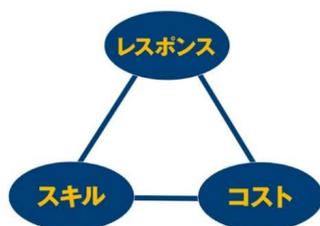
1-2. 企業理念

◆スローガン『コンセント1つから修理の事まで!』を掲げ、お客様の日々の生活に欠く事の出来ない設備機器を通して多種多様な【商品/技術】の中から、ご要望にあった【提案/工事】を行い安心して生活できる社会の実現に貢献する。

1-3. 行動方針

◆当社は、下記の【3つのバランス】を重視して、お客様のご要望や、お困りごとに対応して参ります。

①【レスポンス】 ⇔ ②【コスト】 ⇔ ③【スキル】



-
- ①【レスポンス】とは、お客様のご要望や現状の問題点等をヒアリングし、迅速に現場確認に行き、案件をスピーディーに進めること。
- ②【コスト】とは、お客様のご要望合った商品や工事内容を提案した上で、その内容に応じた価格が提案出来ること。
- ③【スキル】とは、お客様とのヒアリングと現場状況の的確な判断により、お客様のニーズに合った内容を実現できる、提案力や施工技術を身に付けていること。
-

2. 環境経営方針

【環境経営方針】

2-1.環境経営理念

有限会社 荒木電工は、本業である設備工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

その事業活動を通じて、地域社会への貢献を目指し、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

2-2.環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努め、燃料費削減を重点的に実施します。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物の再生資源化率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 塗料や接着剤など適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した工事に努めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

2020年2月25日

有限会社 荒木電工
代表取締役 荒木 和也

2-3.エコアクション21の認証・登録の対象組織・活動

| | |
|--------|-----------------|
| 登録組織名: | 有限会社 荒木電工 |
| 対象事業所: | 本社、第一倉庫 第二倉庫 |
| 対象外: | なし |
| 活動: | 建設工事及び付帯する事業 |

3. 会社情報

(1) 名称及び代表者名

有限会社 荒木電工

代表取締役 社長 荒木 和也

(2) 事業所の所在地

本社、第一倉庫 〒727-0005 広島県庄原市川手町76番地1

第二倉庫 〒727-0005 広島県庄原市川手町76番地4

(3) 設立年月日

1989(平成元)年7月6日

(4) 資本金

300万円

(5) 事業年度

10月1日～9月30日

(6) 会社連絡先、環境経営レポート担当者名

TEL:0824-72-7800、レポート作成/担当者:代表取締役 荒木和也

(7) 事業内容

地域密着型の工事専門店(電気設備・空調設備・給排水設備・消防設備工事、収集運搬業)

(8) 事業の規模

売上高 13,300 万円 (2019年度)

| 施設名 | 本社、第一倉庫 | 第二倉庫 | 合計 | |
|------|---------|------|-----|-------------------|
| 従業員数 | 5 | 0 | 5 | [人] |
| 建物面積 | 110 | 45 | 155 | [m ²] |

(9) 会社の歩み

1989年 7月 …… 設立、建設業許可(電気・消防施設工事業)、電気工事事業者届出

1989年 11月 …… 電気工事事業者届出

2005年 10月 …… 建設業許可(管工事業)

2016年 11月 …… フロン類充填回収業者登録

2017年 6月 …… 高圧ガス販売事業届

2020年 3月 …… 指定給水装置工事事業者(更新/庄原市)

5.事業内容の紹介

5-1.取扱業務、商品等の紹介



5-2.保有資格

1. 電気工事関係

1級電気施工管理技士(監理技術者)、電気工事士(第一種、第二種、認定電気工事従事者)

2. 管工事関係

2級管施工管理技士、給水装置工事主任技術者

3. 消防設備関係

消防設備士(甲1,4,5乙4,6,7)、消防設備点検資格者(第1種、第2種)、危険物取扱者

4. その他、関連資格

あと施工アンカー(主任技士,第1,2種)、冷媒フロン類取扱技術者(第二種)、CATV技術者(第2級) 工事担任者(DD3種)、CATV技術者(第2級)

5. 技能講習

高所作業車、小型移動式クレーン、車両系建設機械(整地等)、床上操作式クレーン フォークリフト、玉掛け、ガス溶接、足場の組立等作業主任者

6. 特別教育

巻上げ機運転、足場の組立等作業従事者、自由研削といし取替え等、粉じん作業 酸素欠乏・硫化水素危険作業、大径木伐木等(チェーンソー等)、低圧電気取扱、アーク溶接

7. 安全衛生教育

職長・安全衛生責任者教育、振動工具取扱作業、刈払機取扱作業車、丸のこ等取扱作業従事者

5-3.保有設備等

1. 特殊車両関係

高所作業車(14.5mウインチ付490kg吊)

トラック(1.5t積、パワーゲート付)

トラック・クレーン車(3.45t積、4段/2.9t吊/ラジコン付)

バックホー(1.5tクラス)

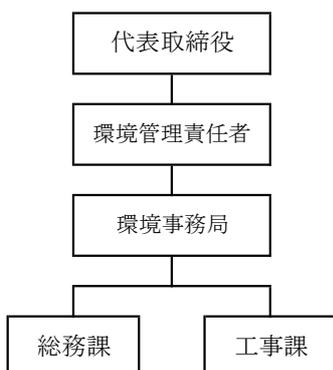
6. 組織図

6-1. 会社組織図



6-2. 環境経営組織図、役割・責任・権限表

作成日：2020年2月25日



| | 役割・責任・権限 |
|---------|---|
| 代表取締役 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 経営における課題とチャンス の明確化 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認 |
| 環境事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

7. 環境経営目標及びその実績

| | 基準年 2019年度 | 基準年 2019年度 1/4 | 2020.6月～2021.5月 | | 取組 評価 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|--------------------------|---------------|----------------------|-----------------|--------|----------|--------|--------|--------|
| | | | 目標 | 実績 | | 目標 | | |
| | | | -1% | - | | -1% | -2% | -3% |
| 電力消費削減 (kWh) | 6,475 | - | 6,410 | 6,939 | × | 6,410 | 6,282 | 6,217 |
| ガソリン車燃費 (km/ℓ) | - | 11.2 | - | 13.2 | ○ | - | - | - |
| 燃料削減 ガソリン (ℓ) | 5,015 | 890 | 4,965 | 4,598 | ○ | 4,965 | 4,915 | 4,865 |
| 走行距離 (km) | - | 9980 | - | 60,609 | - | - | - | - |
| ディーゼル車燃費(km/ℓ) | - | 5.1 | - | 5.2 | ○ | - | - | - |
| 燃料削減 軽油 (ℓ) | 1,846 | 437 | 1,828 | 1,403 | ○ | 1,828 | 1,809 | 1,791 |
| 走行距離 (km) | - | 2245 | - | 7,339 | - | - | - | - |
| 二酸化炭素総排出量 (kg-CO2) | 20,606 | - | 20,399 | 18,700 | ○ | 20,193 | 19,987 | 19,781 |
| 水使用量削減 (m ³) | 38 | - | 37 | 43 | × | 37 | 36 | 35 |

中国電力 排出係数 0.636kg-CO2/kWh

| | 基準年 2019年度 | 基準年 1/4 | 2020.6月～2021.5月 | | 取組 評価 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---------------------|---------------|------------|-----------------|----------|----------|--------|--------|--------|
| | | | 目標 | 実績 | | 目標 | | |
| | | | +1% | - | | +1% | +2% | +3% |
| 一般廃棄物のリサイクル率の向上 (%) | - | 88.2% | 90.0 | 92.8% | ○ | 90.0 | 91.0 | 92.0 |
| 発生量(kg) | 未把握 | 204.0 | - | 1,311.0 | - | - | - | - |
| 再資源化量(kg) | 未把握 | 180.0 | - | 1,216.0 | - | - | - | - |
| 産業廃棄物のリサイクル率の向上 (%) | - | 87.0% | 88.0 | 97.9% | ○ | 88.0 | 89.0 | 90.0 |
| 発生量(kg) | 未把握 | 768.0 | - | 16,405.0 | - | - | - | - |
| 再資源化量(kg) | 未把握 | 668.0 | - | 16,067.0 | - | - | - | - |
| 化学物質の適正管理 | - | - | 適正管理 | ○ | ○ | 適正管理 | 適正管理 | 適正管理 |

※1.基準年2019年度の1年分のデータがない場合は、同年の1/4年のデータを基準年として評価を実施。

8. 太陽光発電の実績

| | 2019年6月 ～ 2020年5月 | 2020年6月 ～ 2021年5月 |
|--|-------------------------|-------------------------|
| | 発電電力量 (kWh) | 13,460 |

- ・設備概要:太陽電池11.04kW(160W×69枚)、パワコン11kW(5.5kW×2台)、ソーラーフロンティア製
- ・設置場所:本社事務所、第一倉庫の屋根



9. 環境経営計画、取組結果とその評価、次年度の取組

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

| 電力消費の削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|------------------------|------|--|
| ・数値目標 | × | 数値目標は未達成となった。 日々のこまめ節電が、習慣化しその実施が出来るようになった。 しかしコロナ対策で、換気扇の多用によりエアコンの稼働率が上がったため、電気使用量の増加になったと考える。 ・9月：事務所エアコンを高効率タイプへの更新が完了。 次年度は、特に換気時のエアコンを控えながら同時に節電とコロナ対策の両立に努める。 |
| ・不要照明の消灯(執務時、退室時) | ○ | |
| ・空調の適温化(冷房28℃,暖房20℃程度) | ○ | |
| ・空調機のフィルターの定期清掃 | ○ | |

| 自動車燃料消費の削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|-----------------------|------|--|
| ・数値目標(ガソリン車) | ○ | 数値目標の達成ができた。 日々の運行管理が、習慣化しその実施が出来る様になった。 ・6月：近隣業務用のスクーターの導入が完了。40km/L ・1月：ハイブリッド車の導入が完了。14→19km/L ・2月：旧年式車両の更新が完了。 次年度も同様に、省燃費運転を行い燃料消費削減及び燃費の向上に努める。 |
| ・数値目標(ディーゼル車) | ○ | |
| ・タイヤ空気圧の適正維持 | ○ | |
| ・省燃費運転の実施(エコドライブ10励行) | ○ | |
| ・重積載の防止(積載の整理・軽量化) | ○ | |

| 水使用量の削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|--------------------------|------|--|
| ・数値目標 | × | 数値目標は未達成となった。 ・9月：雨水タンクの設置が完了。 冬季に雨水が、配管の凍結により活用できていなかった。 ・3月：配管ルートの変更等による凍結防止の対策済 次年度は、さらに雨水の活用を徹底して節水に取組む。 |
| ・節水の呼びかけ表示(節水シールの貼付) | ○ | |
| ・手洗い・洗い物時の節水励行、自動水栓活用 | ○ | |
| ・社用車の洗車の最小限化、節水(雨水利用)の励行 | ○ | |

| 一般廃棄物のリサイクル率の向上 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|--------------------|------|---|
| ・数値目標 | ○ | 数値目標の達成ができた。 紙ゴミのリサイクル化の定着ができた。 次年度は、さらに分別の徹底を行い、リサイクル率の向上に努める。 |
| ・分別の徹底(紙類等のリサイクル化) | ○ | |
| ・シュレッダー廃紙のリサイクル化 | ○ | |
| ・廃棄用紙裏面のコピー利用推進 | ○ | |

| 産業廃棄物のリサイクル率の向上 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|-----------------|------|--|
| ・数値目標 | ○ | 数値目標の達成ができた。 分別により金属くずのリサイクル化を実施できた。 ・6月：金属くずのリサイクル先の開拓が完了。 次年度は、さらに分別の徹底を行い、リサイクル率の向上に努める。 |
| ・分別の徹底 | ○ | |
| ・リサイクル先の開拓 | ○ | |

| 化学物質の適正管理 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|------------------------|------|--|
| ・適正管理 | ○ | SDS台帳の作成を行い、保管庫での管理が適正に出来る様になった。 取り扱い知識の向上のため社員教育を実施 ・7月：化学物質リスクアセスメント訪問支援教育を実施 次年度も同様に化学物質の管理を行っていく。 また危険度の高い溶剤は環境・安全に配慮した商品への代替えを検討していく。 |
| ・化学物資安全性のSDSによる管理 | ○ | |
| ・化学物質の記録・管理(在庫、使用量、保管) | ○ | |
| | | |

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

| 適用される法規制 | 適用される事項(施設・物質・事業活動等) |
|----------------------|----------------------|
| 廃棄物処理法 | 収集運搬 |
| 建設リサイクル法 | 解体工事、建設副産物 |
| フロン排出抑制法 | フロン類充填回収、エアコン等設置・撤去 |
| 高圧ガス保安法 | 高圧ガス販売(フロン類) |
| 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) | 化学物質関係(塗料等) |
| 労働安全衛生法 | 化学物質関係(SDS:安全データシート) |
| 毒物及び劇物取締法 | 化学物質関係 |

環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局からの指摘は、過去3年間ありませんでした。

11-1. 代表者による全体の評価

1. エアコアクション21の取組により、環境経営方針を基に社員一丸となって、環境負荷低減に向けた第一歩を踏み出した事が、1年目の大きな成果であると捉えております。
2. また一年間のデータ収集により、現状把握と取組状況の評価ができる基盤づくりが出来ました。
3. さらに日常的な取組意識向上を目指して、下記のスローガンとキーワードで周知徹底を行って行きます。
 - ◆ スローガン：『3つの心掛けで環境負荷の改善に取組もう！』
 - ◆ キーワード：『①節電・節水、②エコドライブ、③廃棄物の削減・分別』
4. 今後は、さらなる取組の徹底及び現状分析による改善を行い、継続的に活動を進めて参ります。

11-2. 環境対策の歩み

| | | |
|--------|-----------|--|
| 2020年度 | 2020年 4月 | ・節電、節水ステッカー貼付 → 環境負荷低減への取組意識を向上 |
| | 2020年 5月 | ・社有車タイヤ交換時 → エコタイヤの導入する方針を決定し燃費向上を計る |
| | 2020年 6月 | ・スクーター125ccを導入 → 近隣業務時等の燃料消費を削減:40km/L |
| | 2020年 10月 | ・雨水利用タンク(500L)の設置 → 社有車等の洗車、道具等の洗浄に活用 |
| | 2020年 10月 | ・高効率エアコンの導入 → 通年エネルギー消費効率の向上 :3.4→6.2 |
| | 2021年 1月 | ・ハイブリッド車の導入 → 燃費改善:約14km/L → 19km/L |
| | 2021年 2月 | ・旧型の軽バン車両の更新 → 燃費改善および低排ガス車;H17→H29年車 |